



(注) 1 試料採取方法の記号

- T シンワールサンプラーによる試料
- D アニソンサンプラーによる試料
- 貫入試験器による試料
- S サンドサンプラーによる試料
- コア試料
- ◇ コアパックによる試料
- R リジッドサンプラーによる試料

2 試料採取深度と採取比

3.30	3.20-3.25 増体試料採取深度 (m)
3.30	

3 測定試験名の記号

- (E) 電気伝導率
- (P) P 浸透度試験
- (S) S 浸透度試験
- (G) 改良ソックス試験
- (L) キャリトール試験
- (D) 密度試験
- (O) 含水率試験
- (L) ルゾオン試験
- (K) 環状透水性試験
- (R) 孔内水中圧試験

図 5-7-3(3) 土質柱状図 (No.4)

b. 地下水位の状況

事業計画地で実施した図 5-7-1 に示す 8 地点のうち、No.1、No.3、No.7、No.8 で実施した地下水調査による平衡水位を表 5-7-6 に示す。

表 5-7-6 平衡水位

調査地点 No.		1		3		7		8	
帯水層	対象土質 (土層)	試験深度 上端～下端 (GL-:m)	平衡水位 (TP-:m)	試験深度 上端～下端 (GL-:m)	平衡水位 (TP-:m)	試験深度 上端～下端 (GL-:m)	平衡水位 (TP-:m)	試験深度 上端～下端 (GL-:m)	平衡水位 (TP-:m)
自由水	沖積層 砂質土層 (As 層)	1.0～5.0	1.52	4.0～4.5	1.40	3.5～4.5	1.70	4.0～4.5	1.49
第一 被圧水	沖積層 礫質土・ 砂質土互層 (Ags 層)	14.5～15.2	1.96	14.0～14.5	2.63	14.5～15.5	6.21	20.0～20.5	2.00
第二 被圧水	洪積層 砂質土層 (Ds2 層)	47.0～47.7	1.80	48.0～48.5	1.85	46.0～47.0	2.37	48.0～48.5	1.81

注：1. 試験深度 (GL- : m) は各孔口標高からの深度 (m) を示す。

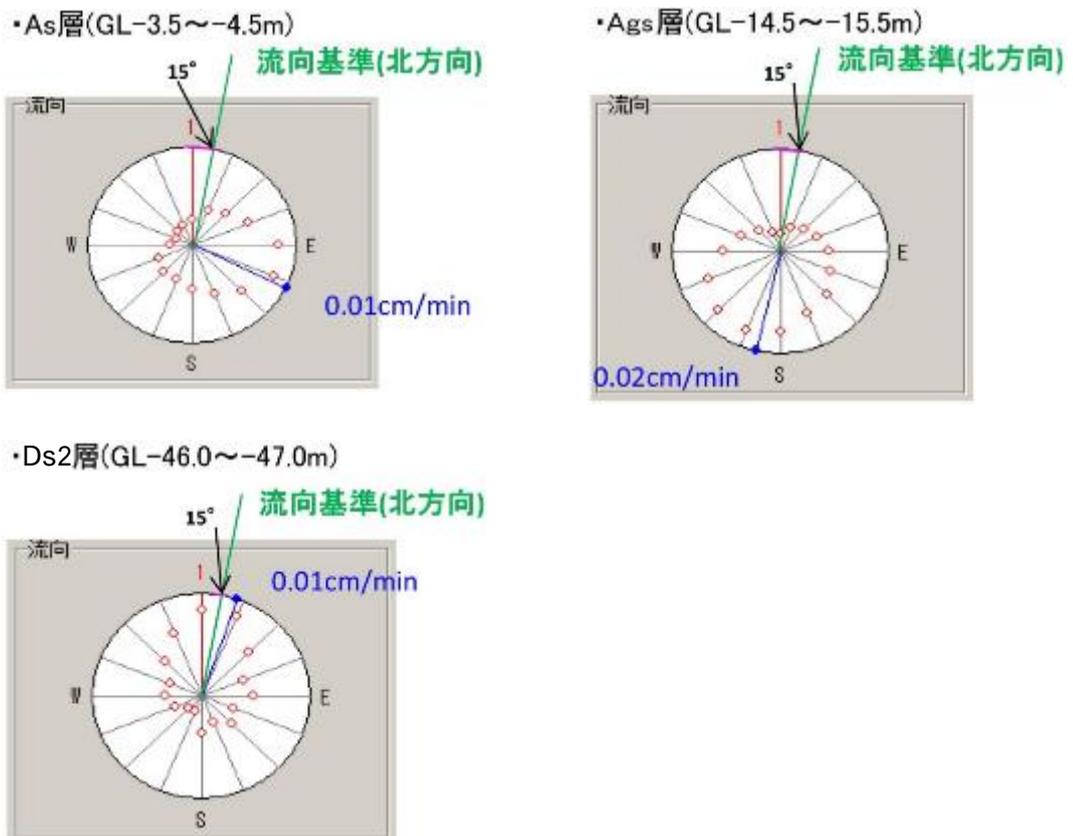
2. 平衡水位 (TP- : m) は標高 0m からの深度 (m) を表す。

c . 地下水の流向・流速

地下水流向流速試験は、熱伝導方式で実施した。地盤調査地点 No.7 での流向・流速結果を表 5-7-7 に示す。調査結果より、流速の値は小さく、自由水（沖積砂質土層（As））は東方向、第一被圧水（沖積礫質土・砂質土互層（Ags））は南方向、第二被圧水（洪積礫質土層（Ds2））は北方向への流向が観測された。

表 5-7-7 流向・流速試験結果

地層	試験区間		流速 (cm/min)	流向 (°)	備考
	上端 (GL - m)	下端 (GL - m)			
As 層	3.5	4.5	0.01	101.0	流向の基準は、北方向から時計回りである。
Ags 層	14.5	15.5	0.02	174.8	
Ds2 層	46.0	47.0	0.01	4.0	



d . 地下構造物の状況

事業計画地及び周辺の主な地下構造物の状況を図 5-7-4 に示す。

事業計画地の東側と南側には、主要な地下構造物は存在しないが、北側及び西側には地下 2~3 階程度の地下街を持つ建築物及び地下街が分布している。地下街（下部の設備室等を含む）は、周辺建築物の地下 2~3 階に相当する深さとなっており、事業計画地西側に位置する地下街のさらに下部には、地下鉄谷町線が南北方向に通っている。